

ふるさとだよ

よしき

FURUSATO DAYORI YOSHIKI



吉敷の木
「もみじ」

吉敷の花木
「うめ」

吉敷の草花
「マリゴールド」

吉敷の草花
「サルビア」

2022

2

No. 791



無病息災を祈願
子ども会どんと焼き



新成人の皆さんおめでとうございます!
市成人式



アサギマダラの乱舞は、このフジバカマの植栽から!
環境づくり推進協議会の活動

CONTENTS

インフォメーション…… 2,3

【トピックス◎】
「ふるさとだよ よしき」が会
長賞 山口県公民館報コン
クール…… 3

【トピックス◎】
日本ボッチャ選手権大会で健闘
大林有利さん(下東)…… 4

【トピックス◎】
「えがお食堂よしき」でひとり
親家庭にエール弁当を配布!
…… 4

【シリーズ歴史◎】
秘めやかな歴史の禪寺
玄濟寺…… 5
レポート…… 6

今月の吉敷人…… 6

「地域ケア会議」で地域の高齢
者をサポートします!!…… 6

健康レシピ…… 7

リレーエッセイ…… 7

イベントカレンダー…… 8 よしき人
かけはし…… 8

YOSHIKI
DATA

【人口】 14,742 (前月比 +10) 【世帯数】 6,401 (前月比 +6)

令和4年1月1日現在



イベント

行事等につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点などから中止または延期となる場合がありますので、予めご了承ください。

行事等中止・延期のお知らせ

■地区人権学習推進大会（中止）

凌雲寺跡第10次発掘調査

現地説明会

大内氏ゆかりの中世寺院「凌雲寺跡」での発掘調査の成果を現地で分かりやすく説明します。

【とき】2月19日（土）10時～11時30分（少雨決行、荒天中止）

【場所】大内氏遺跡凌雲寺跡（中尾）

【対象】どなたでも参加可

【申込】不要

【参加費】無料

【その他】

・駐車場は凌雲寺跡見学者駐車場もしくは臨時駐車場をご利用ください。（駐車場の場所については文化財保護課ホームページをご覧ください。）

・説明会当日は、マスク着用・消毒・検温にご協力ください。

・新型コロナウイルスの感染状況により中止させていただく場合があります。

【問い合わせ】市文化財保護課

☎083-9220-4111

山口弁と一緒に学びましょう 吉敷地区社協講演会

コロナ禍で県外に出ることも少なくなりましたが、一方で、山口県の魅力を感じている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。山口弁（方言）もそのひとつです。

山口弁は温かく、心が和みます。吉敷の皆さんと一緒に山口弁を学び、あちらこちらで方言が飛び交う、笑顔もふれあいもある吉敷にしませんか。

【とき】3月5日（土）10時～12時

【場所】維新大晃アリーナ 視聴覚室（2階）

【演題】山口弁、知っちゃる？「面白くて為になる山口弁もやま話」方言が飛び交う心豊かに暮らせるまちづくり

【講師】森川信夫氏（山口県方言研究家、前防府市立防府図書館館長）

【対象】吉敷在住の方

【定員】70名（要申込・先着順）

【申込受付開始】2月3日（木）

【主催・申込】地区社会福祉協議会

☎083-9222-3344

※託児はありません



講師の森川信夫氏

吉敷ベタンク交流大会

ベタンクをしながら、交流しましょう！初心者でも十分に楽しめます。感染予防のため、当日はマスクを持参してくださいね。

【とき】3月6日（日）8時30分集合（雨天中止）

【場所】ちよるる広場

【定員】60名（先着順）

【申込締切】2月18日（金）

【主催】地区社会福祉協議会・良城クラブ

【申込】地区社会福祉協議会

☎083-9222-3344

ぜったい役立つ！ 防災力UP講座

大切ないのちを守るため、子育て世代が一緒に、災害時に役立つ防災力を身につけましょう。非常食の試食もありますよ！ぜひご参加ください！！

【とき】3月10日（木）10時～12時

【場所】地域交流センター 講堂

【対象】乳幼児・小学生の保護者30名

【講師】日本防災士会山口県支部

坂本由香里氏

【参加費】1人100円

【託児】有（要申込・先着順）

【準備】飲み物、スマートフォン

【主催】食生活改善推進協議会、つどいの広場「楽楽楽」、母子保健推進協議会

【申込・問い合わせ】地域交流センター

☎083-9222-33915

大内氏の歴史講演会

吉敷は、中尾地区に30代大内義興が創建されたとされる国指定史跡の凌雲寺跡があるなど、大内氏との関わりが深い地域です。

このため、より多くの方に大内氏の魅力に触れていただくため、大内氏の歴史講演会をシリーズで開催することにいたしました。

講師は、山口市交流創造部歴史文化のまちづくり推進担当理事の古賀信幸氏にお願いしています。

古賀氏は、昨年山口市交流創造部文化交流課において発行された「大内氏がわかる本」の編集に中心となって取り組んでおられます。

当日は、感染予防対策のため、マスク着用のご協力をお願いします。

【とき】3月19日（土）10時～11時30分

【場所】地域交流センター 講堂

【演題】琳聖太子伝説から五重塔の建立まで

【講師】古賀信幸氏（著書「西国の権力と戦乱」（中世の西国社会巻一）など多数）

【定員】40名

【主催・申込】地域文化振興協議会

☎083-9222-3344



国宝「瑠璃光寺五重塔」

地域交流センター

定期利用団体募集

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの二年間を通して、地域交流センターを定期的に利用される団体を募集します。

応募資格(要約)

- ・ 社会教育、生涯学習に寄与する団体で、地域に公開性、公共性がある活動を行う団体であること。
- ・ 団体会員数が5人以上で、かつ3分の2以上が吉敷在住であること。
- ・ 営利目的の活動ではないこと。(企業活動塾、お稽古教室などは利用不可)
- ・ 地域で開催される行事に積極的に協力できること。

申込書類

地域交流センターに設置
申込方法 所定の申込書に記入し、団体の構成員名簿等を添付のうえ、地域交流センターへ提出してください。

申込期間

2月1日(火)～2月16日(水)

利用調整会議 各団体から必ず1名以上の出席をお願いします。

・ とき 2月22日(火) 18時～

・ 場所 地域交流センター 講座室

問い合わせ 地域交流センター

☎083-92213915

歳末助け合い募金のお礼

歳末助け合い募金にご協力をいただいた地域の方々に、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

消防表彰式を開催し

日頃の活動に感謝しました

1月9日(日) 地域交流センターにおいて、消防表彰式を行いました。

山口県消防協会長表彰

勤続20年 馬場俊作さん(写真左)

勤続10年 藤本勉さん(写真中央)

山口市消防団長表彰

功績章 中村翔太さん(写真右)

皆さん、おめでとございます。



地域交流センター新刊図書案内

・ 白鳥とコウモリ

(東野 圭吾)

・ ぼくのお父さん

(矢部 太郎)

・ バンどろぼうとなぞのフラスコ

(柴田 ケイコ)

・ ピカチュウとはじめてのともだち

(まつおりかこ)



「ふるさとだよりよしき」が会長賞 山口県公民館報コンクール

山口県公民館連合会の令和3年度山口県公民館報コンクールにおいて、吉敷の広報紙の「ふるさとだよりよしき」が、最高の賞である会長賞を受賞しました。会長賞の受賞は平成29年度以来2度目となりました。

広報委員会において編集

吉敷では、地域づくり関係団体の推薦者16名と、地域づくり協議会の事務局職員、地域交流センターの職員などで構成する広報委員会を設置し、広報活動を行っています。

広報紙については、毎月、各委員が、地域に発信していきたいことや知らせたいことを持ち寄り、広報委員会において意見を出し合いながら、編集と発行を行っています。

こうした取組が今回の受賞に繋がったのではないかと思います。

双方向による情報発信

一方的な発信ではなく、住民の皆さんとの双方向による情報発信を行うため、住民皆さんによるリレーエッセイや読者が自由に投稿できる「なんでも広場」のコーナーを設けています。

こうした取組も評価されたのではないかと思います。

ウェブサイトの活用

広報紙は、地域づくり協議会のウェブサイトに掲載し、進学や転勤により遠くに住んでおられる方にも地域の情報が届くようにしています。

また、ウェブサイトには地域づくり団体ごとのページを設け、写真などを活用し、タイムリーで分かりやすい情報を幅広く提供しています。

広報委員会への住民の参加

地域に密着した親しみやすい情報の提供を行うため、住民の方には是非広報委員会に参加していただきたいと思っています。

広報活動に興味がある方がおられましたらご一報ください。





日本ボッチャ選手権大会で健闘 大林有利さん(下東)

令和4年1月7日(金)～9日(日)に愛知県豊田市スカイホール豊田で有観客で開催された「第23回日本ボッチャ選手権大会」に大林有利さんが出場しました。

BC3クラスに出場

出場種目のBC3はパラ競技種目で最も重度な運動機能障害クラスです。自分で投球することが出来ない為、勾配具(ランブ)を使用します。方向(ジャックボールⅡ目標球)や自球の強弱を競技アシスタントに指示しランブ・球をセットの後、口にくわえたスティックで球を押し出し投球します。



大会の様子(手前:大林さん、奥:河本選手)

結果は惜敗も

気持ち新たに次を目指す

今大会、決勝トーナメントに進むことは出来ませんでした。が、東京2020パラ(以下「東京パラ」)出場選手等の強豪と対戦し、最後まで諦めないプレーをできたことが収穫となったそうです。

特に、前大会では1点も取れず完敗した河本圭亮選手(東京パラバレー銀メダルメンバー)に3-7と善戦したことは励みになり、今後も練習を積み、次回に向けて頑張りたいと高まる気持ちを感ずることができ、良かったと話されました。

今後も活躍を期待

ボッチャとの出会いは、デイサービス施設の見学に行った際のこと。プレーを体験し、その魅力にハマったそうです。趣味の絵画を継続するなど、生活に幅を持たすことも怠りません。今後、機会があれば地域の皆さんとボッチャを通じて交流出来ればいいですね。ボッチャの魅力を広める「ボッチャひろめ隊」の隊長として、今後も健闘されることを祈ります。



「えがお食堂よしき」で ひとり親家庭にエール弁当を配布！

「えがお食堂よしき」は、NPO法人山口せわやきネットワークからのアプローチにより平成31年1月に「地域食堂」として、設置しました。

設置の目的は、「地域住民の交流」、「人材発掘と育成」、そして「孤食の防止」です。

令和2年2月までの13カ月に渡って毎月開催し、多くの皆さんが来場され、交流を楽しみました。

軌道に乗ってきた運営

コロナ禍の影響を受け中止

スタッフは、えがお食堂よしきの開設日に向けて、フードバンク山口などでの食材の調達や、イベント計画、スタッフの増員を目指して活動します。回数を重ねるにつれ、利用者も新規スタッフも増え、笑顔の交流ができる食堂になってきましたが、コロナ禍の影響を受け、開催中止となりました。



ひとり親家庭へ

エール弁当を配布

開催中止となり、寂しく感じていたところに、NPO法人山口せわやきネットワーク主催の、ひとり親家庭に向けお弁当を配布する「エール弁当」の活動を知り、「えがお食堂よしき」でも積極的に取り組むことにしました。

このエール弁当は、コロナ禍の影響を受けておられる、ひとり親家庭とお弁当屋さんへ、元気になってもらおうとエールを送る意味が込められています。

えがお食堂よしきの目的とは違っていますが、コロナ禍の影響を受けておられる方々のために、お手伝いできることがあるのは、大変嬉しいことです。

コロナ禍の収束と

えがお食堂よしきの再開

今年度中は、えがお食堂よしきは中止ですが「Withコロナ」として進めていくことは何かないかと検討中です。早くコロナ禍が収束し、以前の生活に戻ることができるといいですね。

(えがお食堂よしき実行委員会)

秘めやかな歴史の禪寺 玄済寺

吉敷地域の神社仏閣とその歴史について、今回は佐田地区の玄済寺さん取材しました。

玄済寺といえば大内氏と毛利家の歴史に関わる資料が収蔵してある「由緒あるお寺」というイメージを持っていましたが、今回は、異色の当主毛利親直にまつわるヒストリーなども伺うことができました。

この吉敷の地で時代の流れを支えてこられた玄済寺について知ること、吉敷の貴重な歴史や文化に幅広く触れることができます。

この度、吉敷毛利家の菩提寺であり、大内義興公の霊牌と毘沙門堂を持つ玄済寺の歴史について、藏重恵昭住職より詳しくご説明いただきましたので、掲載させていただきます。



毛利秀包

吉敷毛利家と玄済寺

玄済寺は、500年前（1522年）、現下関市阿川に、大内氏関連の「浄空庵」として創建。416年前（1606年）、毛利氏関連の「玄済寺」と改号し、397年前（1625年）、山口市吉敷に移り、吉敷毛利家菩提寺として現在に至っております。



玄済寺の開基（創立者）である毛利元就の末子・毛利秀包公（小早川秀包とも言う）は、久留米藩13万石の領主で、キリシタン大名でした。同時期に、黒田官兵衛、黒田長政らと洗礼を受けています。2代目の毛利元就も洗礼を受けており、宗教には、当時としては珍

しく寛容な大名でした。

境内左手には、歴代当主一族の墓地在整然とまつられ、萩の毛利家墓地になんら遜色がない程です。その墓地入口石段に「エンジェル像」があります。以前、サビエル協会や神父さんが参詣なされ、初代当主秀包公の奥方（洗礼名・マセンシア）のエンジェル像と認定されております。



エンジェル像

異色の当主毛利親直

歴代当主の中で、異色の存在は、14代毛利親直公です。

慶応2年（1866）、第二次長州征討の際、弱冠13歳で遊撃隊総督となり、芸州口で勝利を収めています。その後、藩命により、英国留学。5年後帰国し、当主を継ぎ、その後、西南戦争に一兵卒として従軍するも、熊本入吉で戦死、享年26歳。天神山公園に「上野五郎大江親直」として眠っています。

大内義興の霊牌

境内左手には「毘沙門堂」があり、大内家15代大内義興公（琳聖太子始祖の系図では30代）の霊牌と、念持仏の、鎌倉時代作の毘沙門天像二体と平安時代作の吉祥天像、室町時代作の釈迦如来坐像が鎮座いたしております。毛利関連の寺と大内関連のものとのつながりの奇縁に苦慮していたところ、近年、大内義興と吉敷毛利家との血縁関係が証明されたことで納得したとでした。



毘沙門堂

その他、「吉敷毛利家歴史資料室」、毛利家移住前の吉敷領主「福原広俊」墓。信者の香煙が絶えない「吉敷願掛け地蔵様」、「宣徳社」及び天神山公園。その一帯には、史跡、顕彰碑、英霊の塔などが点在しています。

玄済寺 29代住職 藏重恵昭

レポート

子ども会のどんと焼き

1月10日(月・祝)、良城小学校グラウンドで恒例のどんと焼きを行い、今年の無病息災を祈りました。終了後は子ども会議のメンバーが企画したビンゴで盛り上がりました。



私たちの活動地域で役立てて

1月13日(木)、山口総合支援学校中学部1年生の皆さんから、えがお食堂へ寄付をいただきました。一生懸命取り組んだ資源物回収で得た収益金です。「地域のために」との思いにより先輩から受け継がれ今年で4年目となる活動です。



よしきびと 今月の吉敷人 No. 117

あべ 穂乃香 さん

新成人



大変な時期ではありますが無事成人を迎えることが出来ました。まだ実感がわかないのが正直なところですが、いざ働き始めた時に恥ずかしくないよう自覚を持ち行動し、経験を重ね成長していきたいです。

良城小、鴻南中卒。専門学校在学。

よしきびと 今月の吉敷人 No. 118

うすい かずき 白井 一稀 さん

新成人



この成人という節目で目指す立場から目指される立場へと変わっていきたくです。今まで培ってきたものを教え、伝える側となり社会に貢献していければと思います。

良城小、鴻南中卒。消防士。

「地域ケア会議」で地域の高齢者をサポートします!!

国の予想では、2050年には超高齢化社会になり、1人の高齢者を12人の若者が支える時代になると言われています。



この為、地域包括支援センターでは、高齢者の方が、健やかに自立した生活を送って頂くために、地域でのお困りごとを支援し、解決するために「地域ケア会議」の取組みを進めています。



地域ケア会議とは

この会議は、住民の方や民生委員をはじめ、ケアマネジャー・福祉・医療関係者が一緒になって地域課題の把握や社会資源の発掘などを様々な観点から行い、高齢者等の支援策を検討するものです。

会議の様子(例)



住み慣れた吉敷で生活が続いていくのに、困りごとはありますか。

地域に気軽に集まれる交流の場が増えると嬉しいです。

一人暮らしの高齢者が増えるので、地域で見守ってもらえると安心です。

山口市鴻南地域包括支援センターは、高齢者の身近な相談窓口です。お気軽にご連絡ください。
電話 (083) 934-3333



吉敷地区食生活改善推進員監修

健康レシピ

17

もやしとにらとひき肉の ピリ辛炒め

食欲がないときにもご飯をおいしくするおかずです。
しっかり食べて免疫力をつけましょう。



材料

【4人分】

■ もやし	200g
■ にら	200g
■ サラダ油	大さじ3
■ 豚ひき肉	200g
■ 長ねぎ(みじん切り)	60g
■ 片栗粉	小さじ2
① 豆板醤	小さじ4
■ 甜麺醤	大さじ2
② 顆粒スープの素	小さじ1
■ しょうゆ	大さじ2
■ 酒	大さじ2
■ 水	1/2カップ(100cc)

作り方

- 1 もやしはひげ根をとり、にらは4cmの長さに切る。
- 2 フライパンは油を中火で熱しひき肉を炒める。
肉がボロボロになったら長ねぎを加え炒め、ざっとからんだら④を入れ1分ほど炒め合わせ香りが出たらもやしとにらを加える。
- 3 全体がざっとからんだら⑥を注ぎ水気が出るまで煮立て、野菜がしんなりしたら倍量の水で溶いた片栗粉をまわし入れ、とろみをつけます。

【1人分】エネルギー130kcal 蛋白質11g 脂質8.6g
カルシウム32mg 食塩相当量4.5g

リレーエッセイ

Relay Essay

021

よしもと さゆり
吉本 小百合さん(緑ヶ丘)



初めまして、皆さんはハーモニカをご存知でしょうか?ご年配の方なら一度は手にして吹かれた方も多いかと思います。

さて、中原中也を知らない方はいないと思いますが、その中也の末弟・拾朗がハーモニカの名手だったことをご存知の方は少ないのではないのでしょうか。

中原家の末弟として生まれた拾朗氏は、伊藤家に養子に行き良城小学校のすぐ近くに住んでおられました。昭和56年の世界ハーモニカコンテストで優勝されてからは、マスコミにも取り上げられるようになりました。また、日本的奏法(ベース奏法・和音奏法・分散和音奏法等)を確立したハーモニカの巨匠・佐藤秀郎氏とも交流を持たれ、「この奏法を広げて未来に残していきたい」と演奏活動の傍ら自宅でハーモニカの指導をしておられました。晩年は「山口県にハーモニカの活動をする組織を立ち上げたい」との思いを

持ちながらも志半ばで亡くされました。その遺志を引き継ぎ、お弟子さんたちが16年前に「山口県ハーモニカクラブ」を設立し、今日まで様々な活動をしておられます。

私達も4年前に、「山口県ハーモニカクラブ」の下部組織である「吉敷ゆう・ゆうハーモニー」を立ち上げ、月に4回交流センターを拠点として活動しています。立ち上げ当初は6人でしたが今では13人と増え県外での演奏会などにも参加し、精力的に活動しております。

最後に、このエッセイを通じて吉敷に日本を代表するハーモニカ演奏者が存在したことをお伝えし、一人でも多くの方に関心を持って頂き、ここ吉敷からハーモニカの輪が県内各地に広がれば、拾朗氏の想いを受け継ぐ一人として幸いに思います。



演奏活動の様子





1火	●市・県民税申告相談受付(吉敷会場) 9:30～16:00
2水	
3木	●町内会長会 18:30～
4金	●広報委員会 17:00～
5土	
6日	●山口県知事選挙
7月	●あいさつの日
8火	
9水	
10木	
11祝	
12土	
13日	
14月	●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～
15火	
16水	
17木	

18金	
19土	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00 ●凌雲寺跡第10次発掘調査現地説明会 10:00～11:30 P.2
20日	
21月	
22火	●地域交流センター定期利用調整会議 18:00～ P.3
23祝	
24木	
25金	
26土	
27日	
28月	●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～ ●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 10:00～15:00

3月のおもなイベント

5土	地区社協講演会 P.2
6日	吉敷ベタンク交流大会 P.2
7月	あいさつの日
10木	子育て講座「ぜったい役立つ!防災力UP講座」 P.2
19土	大内氏の歴史講演会 P.2

「優しさのバトン」

皆様、新年いかがお過ごしでしょうか。新年の抱負を決めて実践されている方も多いことでしょう。

昨年のこと、テレビを見てみると「恩送り」という言葉が耳に入ってきました。「恩返し」でなくて「恩送り」という考え方。私は目の前がぱっと晴れて、すがすがしい気持ちになりました。

これまで多くの人と出会い、沢山の優しさや助けを受けて、ことあるたびに心の片隅で感謝を抱いてきました。

子供の頃にはわからなかったけど、自分が大人になって気づく優しさ、温もりを感じられることがあります。

子育て中には、知らない土地で不安の中、数えきれないほどの温かい言葉をかけていただいていたことを思い出します。その場でお礼を言うだけで終わってしまった、その方たちへ直接お返しをすることは、なかなか難しいものです。その中で私にできることは、困っている方がいたら、率先してその人に寄り添い、自分がしてもらって助かったこと、嬉しかったことを心にとどめて手を差し伸べることだと思っています。

人から受けた恩はバトン。受け取った思いやりを第三者に受け渡していく「恩のバトンリレー」をしていきたいです。「恩のバトン」が広がり、ひとつの優しさが波紋のように広がることを、な世の中にならと思うと力が湧いてきます。

広報委員 浦京子

【発行・編集】

吉敷地区広報委員会 (〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号)
☎083-922-3915 吉敷地域交流センター(地域担当)
☎083-922-0668 吉敷地域交流センター(行政窓口担当)
☎083-922-3344 地域づくり協議会・吉敷自治会・地区社協

吉敷地区地域づくり協議会ウェブサイト・フェイスブック
<https://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索

